

2024年4月18日

通貨ニュース

IMF 世界経済見通し:「米国経済独り勝ち」シナリオの確度が高まる

見通しのアップデートに関して

4月16日に国際通貨基金(IMF)は世界経済見通し(WEO)を公表した。IMFは毎年4月と10月にWEOの公表を行い、1月と7月には直近のWEOのアップデートを行っている。WEOによると、世界の2024年GDP成長率見通しに関して、前回(2024年1月)の+3.1%(前年比、以下同様)から+3.2%に上方修正された(図表1、2、3)。一方で、2025年に関しては、+3.2%と前回から不変だった。

先進国全体では、2024年のGDP成長率見通しが前回の+1.5%から+1.7%へ上昇修正された(図表1、4、6)。国・地域別で確認すると、米国(+2.1%→+2.7%)の引き上げが全体をけん引した。一方、ユーロ圏(+0.9%→+0.8%)、英国(+0.6%→+0.5%)などその他の先進国・地域は軒並み下方修正された。なお、先進国全体に関し、2025年のGDP成長率見通しは、前回の+1.8%から不変だった。

新興途上国全体では、2024年のGDP成長率見通しが前回の+4.1%から+4.2%へ小幅に上方修正された(図表1、5、7)。国・地域別では、ロシア(+2.6%→+3.2%)やブラジル(+1.7%→+2.2%)に加え、インド(+6.5%→+6.8%)などの上方修正が目立った。一方、メキシコ(+2.7%→+2.4%)やASEAN-5(+4.7%→+4.5%)の下方修正もあり、全体としての上方修正幅は限られた。なお、新興途上国全体に関し、2025年のGDP成長率見通しは、前回の+4.2%から不変だった。

片や、世界のインフレ率(消費者物価指数)に関してWEOによると、2024年に+5.9%(前年比、以下同様)、2025年に+4.5%と予測されている(図表1、8～11)。前回からそれぞれ+0.1%ずつ上方修正されている。先進国全体では、2024年に+2.6%、2025年に+2.0%との予測。新興途上国全体は、2024年に+8.3%、2025年に+6.2%との予測になっている。先進国の見通しに変化はなく、成長率見通しの上方修正と併せて考えても、ソフトランディングの可能性はさらに高まっているのだろう。一方、新興途上国のインフレ見通しは2024～25年において上方修正されており、中央銀行の自由度は狭まる可能性がある。

IMFは、成長率見通しに関し、リスクバランスは前回同様均衡していることを指摘した。具体的には、経済の下振れリスクとして、①紛争由来の商品価格高騰、②インフレ長期化と金融ストレスの発生、③中国の景気回復の失速、④債務危機、⑤激化する地政学的分断、などを指摘した。その一方で、①選挙を受けた財政拡大路線、②金融緩和の早期化、③人工知能の活用に伴う生産性の向上、などを経済の上振れリスクとして列挙した。これらを踏まえIMFは、時期尚早な金融緩和に警鐘を鳴らすとともに、過剰な引き締めに対しても回避すべきと論じており、バランスの取れた金融政策運営を求めている。

金融市場部

長谷川 久悟

03-3242-7065

kyugo.hasegawa@mizuho-bk.co.jp

新興市場国の影響力拡大に備える

なお、見通しに先立ち公表された第 4 章では、『世界で拡大する新興市場国の波及効果』と題し、新興国が世界経済に与える影響度合いについて分析している。図表 12 では各国・地域でのショックが世界経済に与える影響を示しているが、米国の影響力低下、新興国の影響力増大が目につく。データが 2018 年時点であること、新興国の GDP シェアが今後も拡大すると見込まれることも考慮に入れば、さらにそのトレンドが続きそうだ。それだけでなく、工業化の進展などに伴い、グローバルサプライチェーンにおける新興国の存在感も加速傾向にある(図表 13)。もちろんシェアとしてはまだ低い水準ではあるものの、各国が製造業の躍進を主要な国策としている中では、今後も拡大が見込めそうだ。過去、ショックの波及経路としては先進国→新興国といったものが多かったが、今後は逆向きのパスにも注意を払う必要がある。中国由来のショックなどに関しては、エコノミストの間でも十分に分析がなされているように感じるものの、それ以外の新興国がもたらさるる影響度に関する分析は積みあがっていない。IMF も、中国以外では、インド、ブラジル、ロシア、メキシコといった国々を重視しているようだ。本欄でも、各国経済の分析に留まらず、よりグローバルな視点を加えつつ分析を行っていきたい。

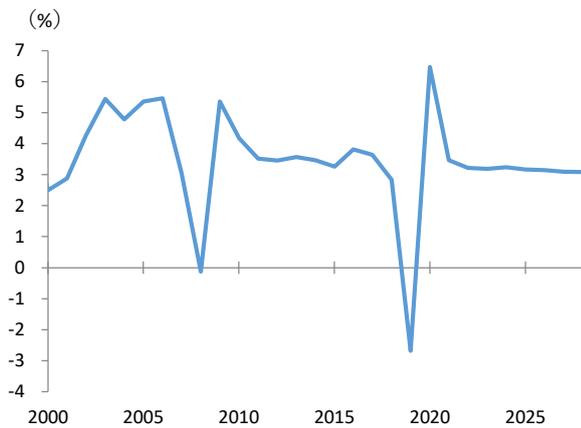
図表 1: IMF 世界経済見通しの詳細

IMFの成長率見通し(暦年ベース、%)		見通し			2024年1月見通しとの比較	
		2023	2024	2025	2024	2025
世界		3.2	3.2	3.2	0.1	0.0
先進国		1.6	1.7	1.8	0.2	▲ 0.0
	米国	2.5	2.7	1.9	0.6	0.2
	ユーロ圏	0.4	0.8	1.5	▲ 0.1	▲ 0.2
	ドイツ	▲ 0.3	0.2	1.3	▲ 0.3	▲ 0.3
	フランス	0.9	0.7	1.4	▲ 0.3	▲ 0.3
	イタリア	0.9	0.7	0.7	0.0	▲ 0.4
	スペイン	2.5	1.9	2.1	0.4	▲ 0.0
	日本	1.9	0.9	1.0	▲ 0.0	0.2
	英国	0.1	0.5	1.5	▲ 0.1	▲ 0.1
	カナダ	1.1	1.2	2.3	▲ 0.2	0.0
	その他先進国	1.8	2.0	2.4	▲ 0.1	▲ 0.1
新興途上国		4.3	4.2	4.2	0.1	0.0
	アジア新興途上国	5.6	5.2	4.9	0.0	0.1
	中国	5.2	4.6	4.1	0.0	▲ 0.0
	インド	7.8	6.8	6.5	0.3	▲ 0.0
	ASEAN5	4.1	4.5	4.6	▲ 0.2	0.2
	欧州新興途上国	3.2	3.1	2.8	0.3	0.3
	ロシア	3.6	3.2	1.8	0.6	0.7
	ラテンアメリカ・カリブ諸国	2.3	2.0	2.5	0.1	0.0
	ブラジル	2.9	2.2	2.1	0.5	0.2
	メキシコ	3.2	2.4	1.4	▲ 0.3	▲ 0.1
	中東・中央アジア	2.0	2.8	4.2	▲ 0.1	0.0
	サウジアラビア	▲ 0.8	2.6	6.0	▲ 0.1	0.5
	サブサハラアフリカ	3.4	3.8	4.0	▲ 0.0	▲ 0.1
	ナイジェリア	2.9	3.3	3.0	0.3	▲ 0.1
	南アフリカ	0.6	0.9	1.2	▲ 0.1	▲ 0.1
世界貿易額(財・サービス)		0.3	3.0	3.3	▲ 0.3	▲ 0.3
消費者物価	世界	6.8	5.9	4.5	0.1	0.1
	先進国	4.6	2.6	2.0	0.0	0.0
	新興途上国	8.3	8.3	6.2	0.2	0.2

(資料) IMF、Macrobond、みずほ銀行

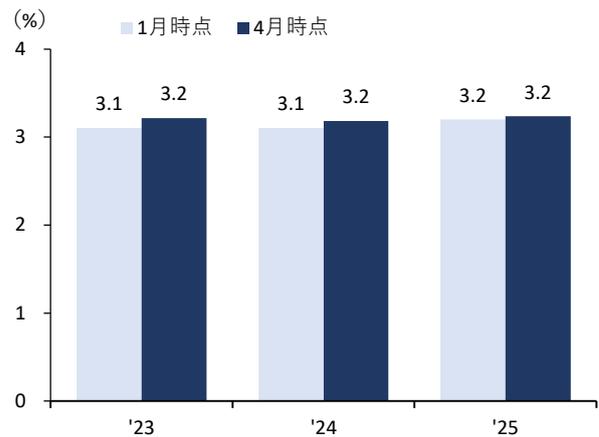
※インドについては、財政年度ベースで表示している

図表 2:世界の GDP 成長率の推移



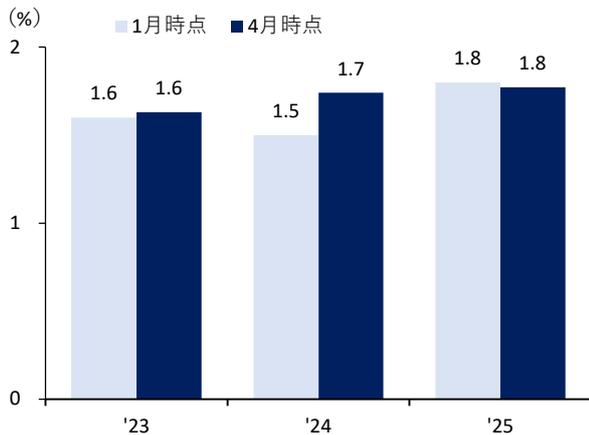
出所: IMF、Macrobond、みずほ銀行
 ※2024 年以降は IMF の予測値

図表 3:世界の GDP 成長率予測



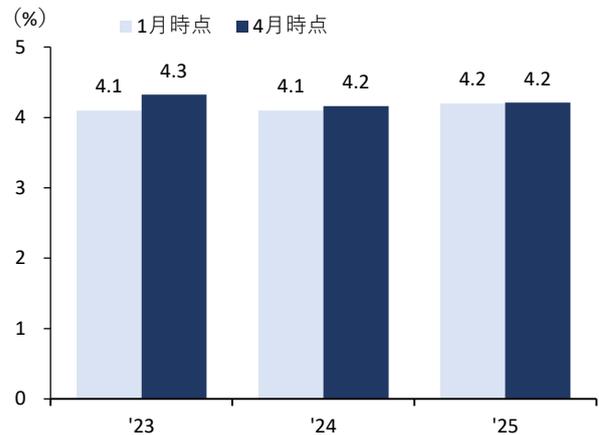
出所: IMF、Macrobond、みずほ銀行

図表 4:先進国の GDP 成長率予測



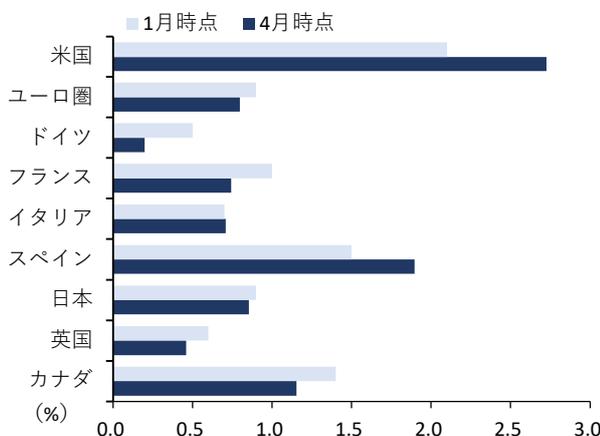
出所: IMF、Macrobond、みずほ銀行

図表 5:新興途上国の GDP 成長率予測



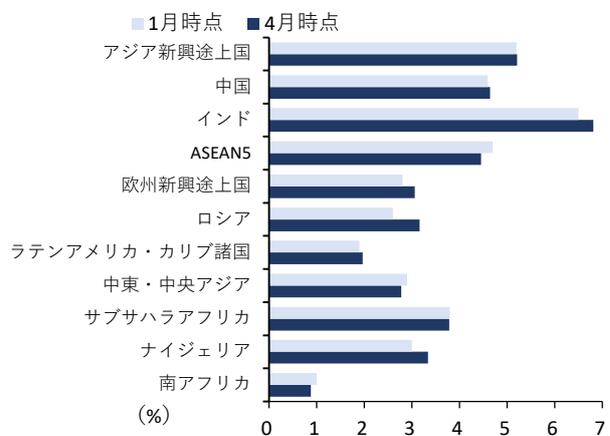
出所: IMF、Macrobond、みずほ銀行

図表 6:先進国の GDP 成長率予測(24 年、個別国・地域)



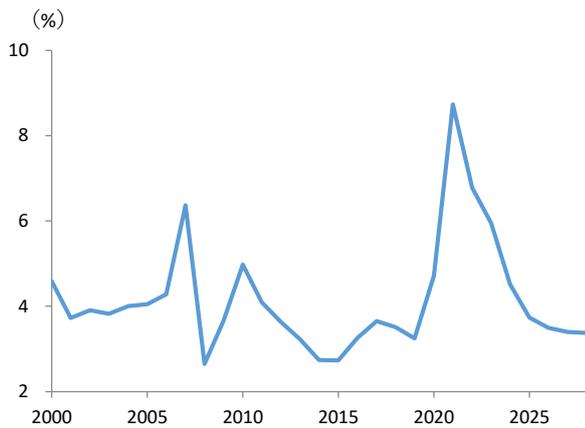
出所: IMF、Macrobond、みずほ銀行

図表 7:新興途上国の GDP 成長率予測(24 年、個別国・地域)



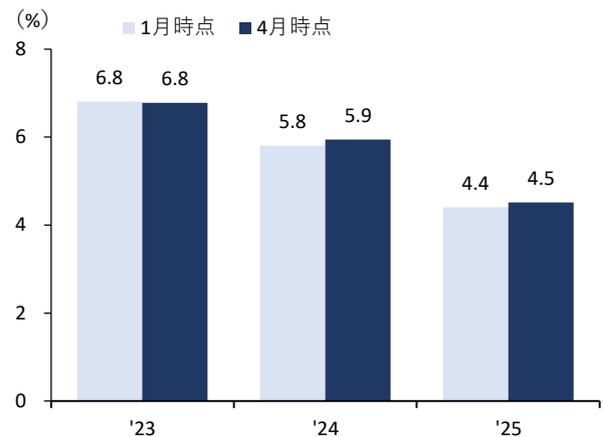
出所: IMF、Macrobond、みずほ銀行

図表 8:世界のインフレ率の推移



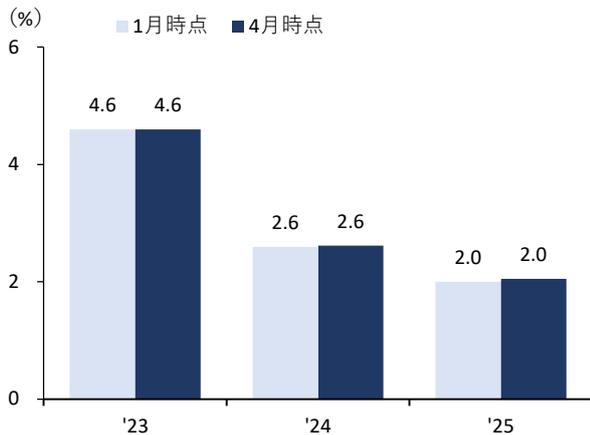
出所: IMF、Macrobond、みずほ銀行
 ※2024年以降はIMFの予測値

図表 9:世界のインフレ率予測



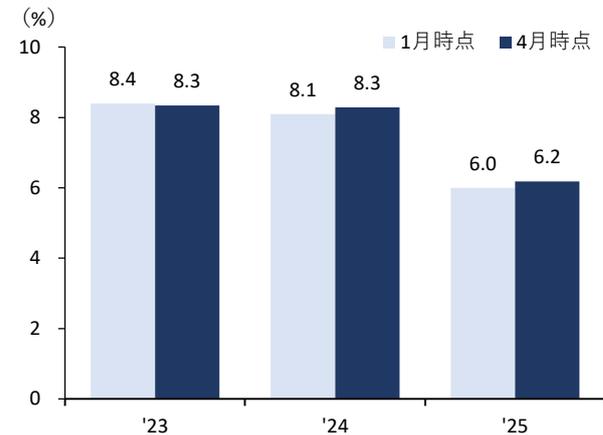
出所: IMF、Macrobond、みずほ銀行

図表 10:先進国のインフレ率予測



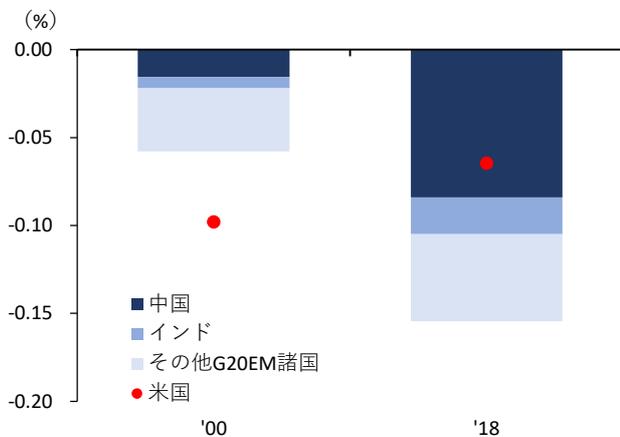
出所: IMF、Macrobond、みずほ銀行

図表 11:新興途上国のインフレ率予測



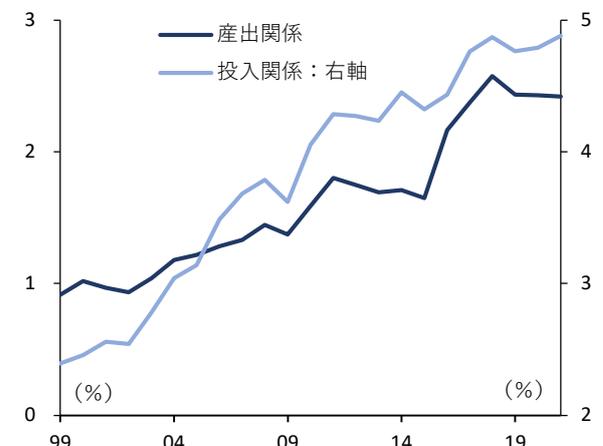
出所: IMF、Macrobond、みずほ銀行

図表 12:新興市場国の経済ショックが世界経済に与える影響



出所: IMF、みずほ銀行
 ※それぞれの国・地域において▲2.5%の TFP ショックが起きた際の、世界全体の GDP(当該国・地域除く)に与える影響を示している

図表 13:サプライチェーンに占める G20 新興市場国の割合



出所: IMF、みずほ銀行
 ※産出関係は世界需要の内新興市場国の消費者・企業が占める割合を、投入関係は新興市場国産業が供給する総投入割合を示している

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。